



●この説明書は、必ず組立てされる方にお渡してください。

### ■組立てされる方へのお願い

●指定のガラスをご使用ください。指定のガラスを使用しない場合、遮炎性能を満たしません。

(詳しくは、「LIXIL防火戸登録制度ホームページ」を参照ください。)

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

**▲注意** …組立てを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

### ▲注意

●漏水の原因になるおそれがあるため、下記事項をお守りください。

- ・縦枠両側に張付けてあるコーキングシーラーが、上・下枠の周りにはみ出すように合わせてからねじ止めしてください。
- ・ねじは $2.5 \pm 0.5 \text{ N} \cdot \text{m}$  { $25 \pm 5 \text{ kgf} \cdot \text{cm}$ } のトルクで止めた後、ゆるみ・ガタツキのないことを確認してください。

### ■組立て上のお願

- 必ず指定の組立てねじを使用してください。
- 取付けは、「取付け説明書」をご覧ください。
- 取付け説明書および取付けねじセットは、必ず施工される方へお渡してください。
- 枠を躯体に取付けてから障子を建込む場合は、必ず施工される方へ障子取付けねじをお渡してください。
- ガラス寸法はダンボール又はカタログをご覧ください。
- ソリ防止のため、樹脂面を直射日光に当てた状態で放置しないでください。
- 樹脂は割れたりキズついたりしやすいため、ぶついたりこすったりしないでください。
- 組立ての際は、樹脂面をハンマーで直接たたかないでください。樹脂が割れるおそれがあります。
- 樹脂材に荷重がかからないよう、保管・輸送の際は保護してください。

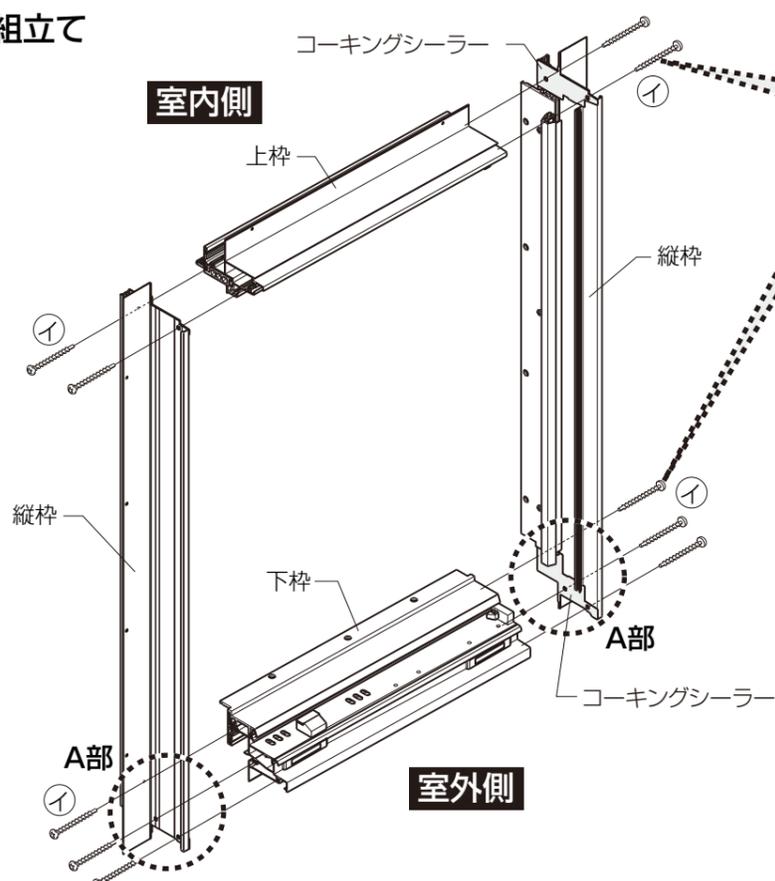
### ■ねじ一覧表

記号	㊦	㊧	㊨
姿図			
	バインド タッピングねじ φ4×30	ナベ タッピングねじ φ4×25	皿小ねじ M4×8
使用部位	枠	障子	ステー

記号	㊩	㊪	㊫
姿図			
	障子 組立補強板 (上部)	障子 組立補強板 (戸先下部)	障子 組立補強板 (吊元下部)
使用部位	障子	障子	障子

### ■組立て順序

#### 1 枠の組立て



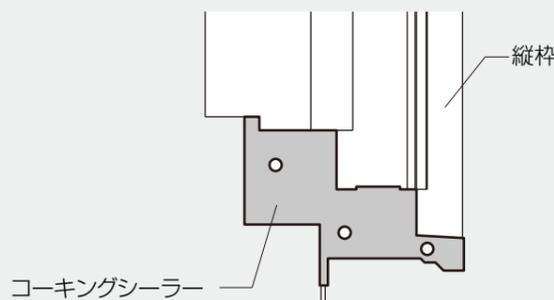
### ▲注意

●ねじは $2.5 \pm 0.5 \text{ N} \cdot \text{m}$  { $25 \pm 5 \text{ kgf} \cdot \text{cm}$ } のトルクで止めた後、ゆるみ・ガタツキのないことを確認してください。

### ▲注意

●縦枠両端に張付けてあるコーキングシーラーが上・下枠の周りにはみ出すように合わせてからねじ止めしてください。

#### ■A部詳細図

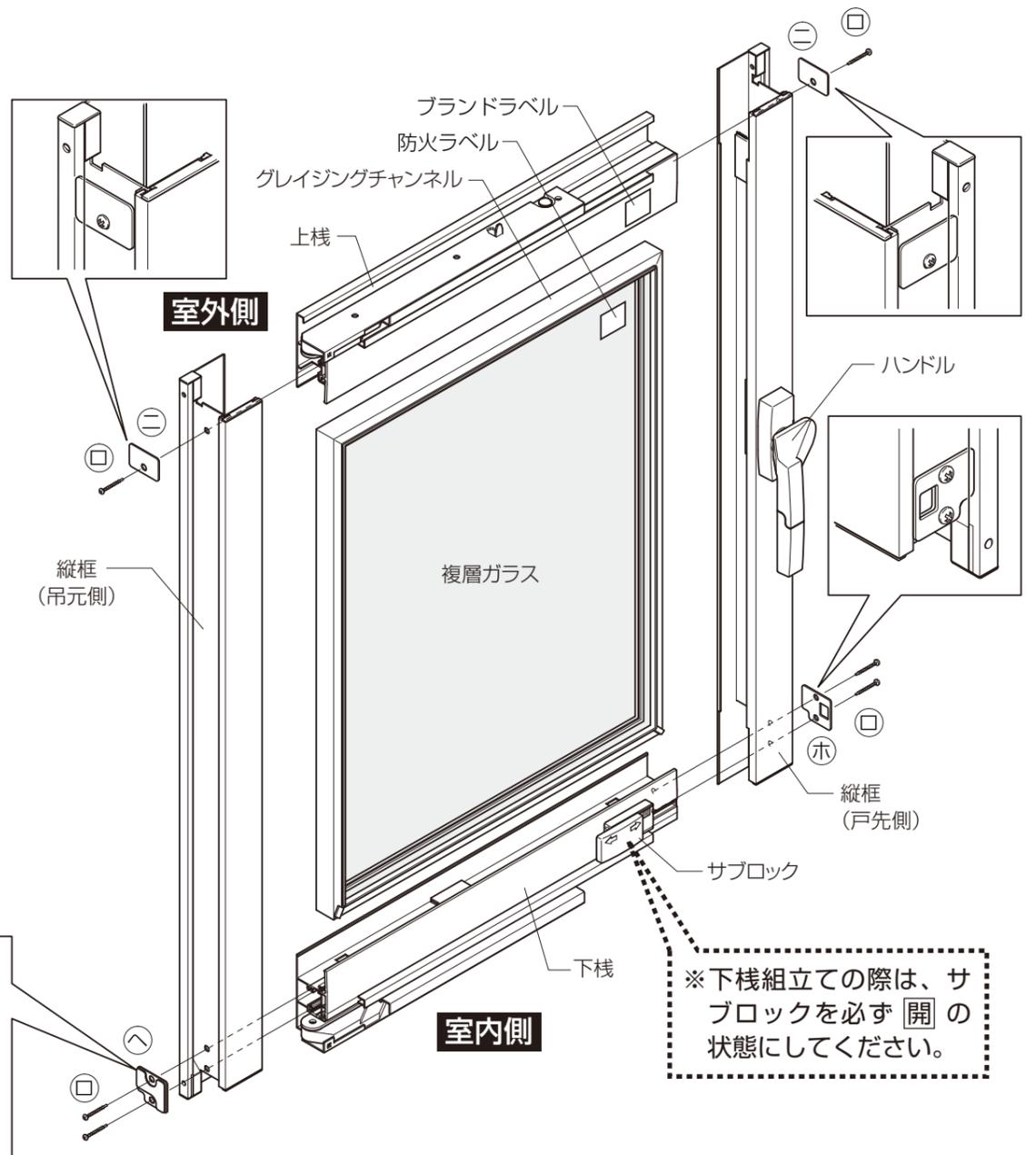
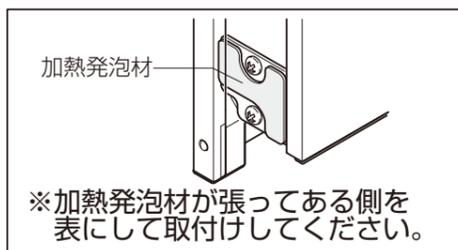
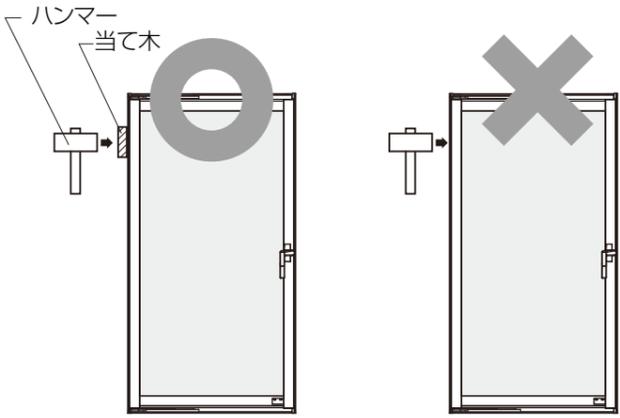


## 2 障子の組立て

- ①上下棧を左右均等になるように差込みます。  
※縦框を先に差込むと、サブロック部と干渉し組立てられません。
- ②縦框を差込み、上下棧と組立補強板・ねじで固定します。  
※W036をこえるサイズには戸先下がり調整金具を付けて組立ててください。  
取付け要領は「戸先下がり調整金具組立て説明書」をご覧ください。

### お願い

※組立ての際は、樹脂面をハンマーで直接たたかないでください。樹脂が割れるおそれがあります。

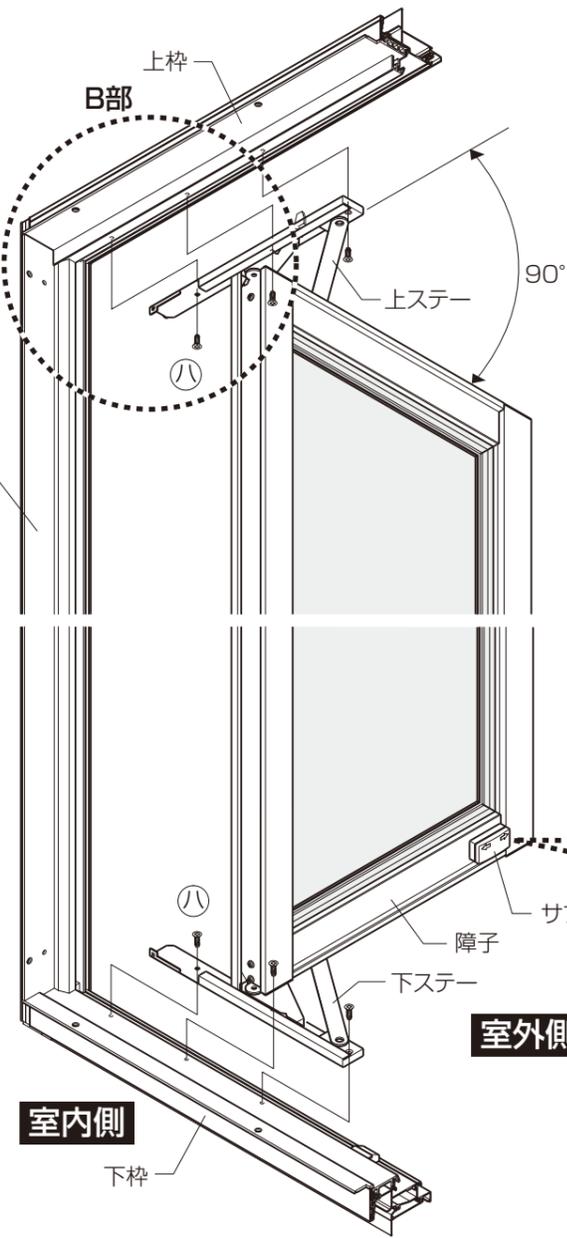
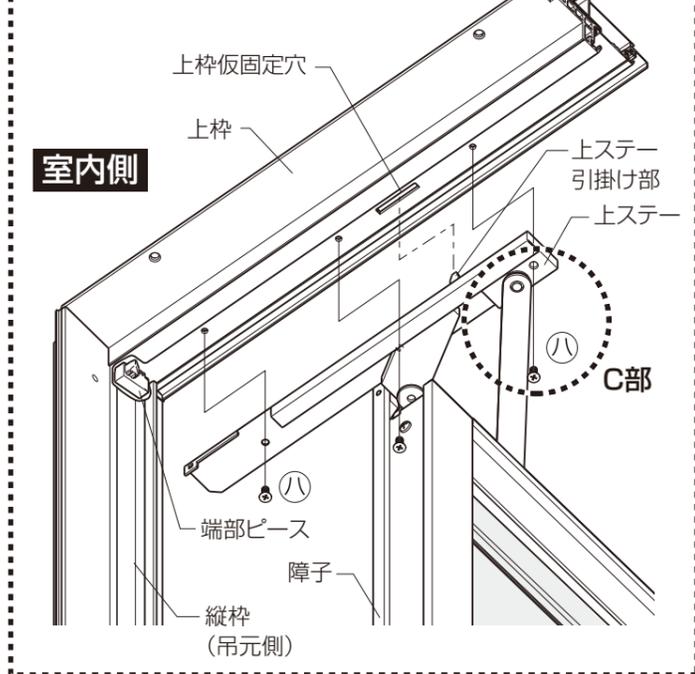


※下棧組立ての際は、サブロックを必ず開の状態にしてください。

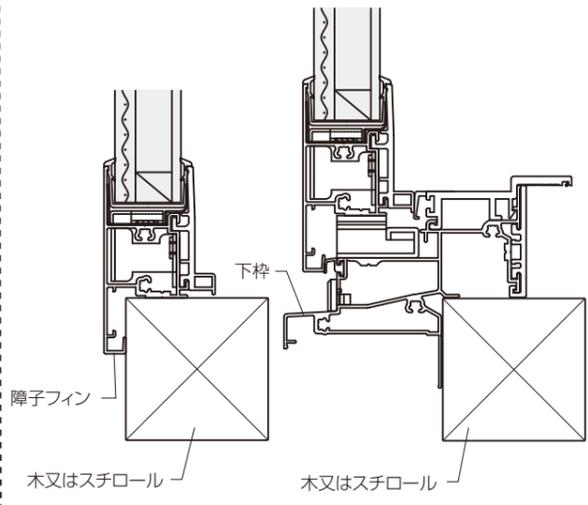
## 3 障子の取付け

- ①障子に付いている上・下ステーを引出し、90°に広げます。
- ②上ステーの引掛け部を上枠仮固定穴に差込みます。
- ③下ステーを下枠にのせた後、上下枠（吊元側）の端部ピースに上・下ステーを差込みます。
- ④C部のねじを最初に取り付けます。（障子が仮止めされます。）
- ⑤残ったねじをすべて固定します。  
※逆の手順で障子を取外せます。

### B部詳細図



※障子組立て後に保管する場合は、障子フィンに重量がかからないよう木などを当ててください。又、障子取付け後に保管する場合も同様に、釘打ちフィンに重量がかからないよう木などを当ててください。



※障子開閉の際は、サブロックを必ず開の状態にしてください。

